

研究協力のお願

この度、本学において下記の内容にて観察研究を行うことになりました。ご理解・ご協力のほど、よろしくお願

大阪医科大学

耳鼻咽喉科・頭頸部外科学教室

記

研究課題名:	鼻出血例に関する、難治化要因の評価による対応法確立のための観察研究
研究の目的:	鼻出血は頻繁にみられる症候ですが、難治例では鼻内にガーゼを留置するなど負担の大きな治療を余儀なくされる一方、それでも出血を繰り返す方がおられます。本研究は、難治となる要因をこれまでの患者さまのデータから抽出し分析することで、速やかに負担の小さな治療法を取る対応法を確立することを目的としています。
研究の意義:	得られた分析結果から、難治となる方を見出し、早い段階からより適切な対応行えるようにしていきたいと考えています。
研究の対象:	鼻出血症にて受診された患者さん（目標症例数:200例）
該当期間:	2014年1月1日 ～ 2024年3月31日
研究の方法:	対象となる患者さんについて、年齢、性、出血の状態、既往歴や服薬内容、検査結果、治療経過などについて検討する予定です。なお、個人名など個人情報が明らかになることはありません。
研究期間:	研究実施許可日 ～ 2026年3月31日
個人情報の利用目的、開示等の求めに応じる手続き:	

対象者の方を特定できないように対処したうえで、本臨床研究の成果を学会や論文等で公表します。対象者の個人情報については、耳鼻咽喉科・頭頸部外科学教室内にあるコンピューター内で、リストにした状態で保管、個人情報から特定の個人を識別することができる情報を削除し、匿名化した上で取り扱います。対象者の方（その代理人）より、本研究で保有する個人情報の開示を求められた場合には、対象者の方（その代理人）の同意する方法により情報を開示いたします。

個人情報の取り扱いに関する相談窓口：

大阪医科大学 耳鼻咽喉科・頭頸部外科学 講師 乾 崇樹

TEL 072-683-122-(代表) 内線 2359

利益相反について：

本学は、臨床研究を含む自らの研究成果について積極的に地域社会へ還元することで、社会から求められる研究拠点を目指しております。一方で、研究に関連して研究者が企業から経済的利益を得ている場合には、研究の成果が歪められる、または歪められているとの疑念を抱かれる可能性が出てきます。このような利益相反の状態を適切に管理し、研究の透明性、信頼性および専門性を確保していることを社会に適切に説明するため、本研究は、本学の利益相反マネジメント規程に則して、実施されております。

当該マネジメントの結果、本研究に関して開示する事実がない旨をお伝えします。

研究者名：

耳鼻咽喉科・頭頸部外科学	教授	河田 了
耳鼻咽喉科・頭頸部外科学	診療准教授	寺田哲也
耳鼻咽喉科・頭頸部外科学	講師	乾 崇樹
耳鼻咽喉科・頭頸部外科学	助教	菊岡祐介

※ 本研究で利用させていただく研究情報については、将来、別の研究に利用（二次利用）させていただく場合があります。その場合は、改めて研究倫理委員会へ申請の上で、研究を実施いたします。

- ※ 対象者の方(その代理人)の申し出により、他の対象者の方の個人情報保護や本研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、本臨床研究計画及び方法に関する資料を入手又は閲覧できます。
- ※ ご自身の既存情報を研究に使用させて頂くことに対して同意頂けない場合は、下記の申し出先までご連絡ください(対象者の代理人からの申し出も受付いたします)。申し出をされた場合は、本研究への利用はいたしません。しかしながら、研究結果が出た後の参加拒否の申し出については、データを研究結果から削除することができかねますので、予めご了承ください。

問い合わせ、参加拒否の申し出先: 〒569-8686 大阪府高槻市大学町2番7号

大阪医科大学 耳鼻咽喉科・頭頸部外科学教室

担当者: 乾 崇樹

T E L: 072-683-1221(代表)

内 線: 2359